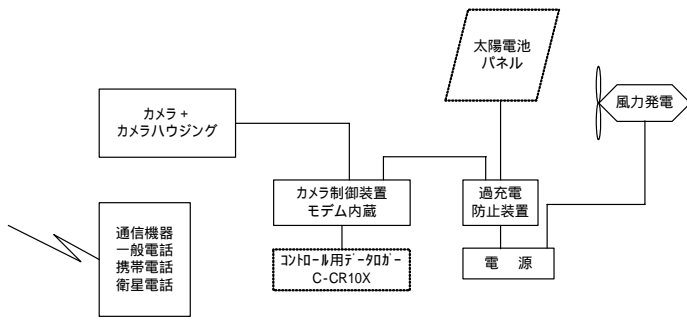


無電源カメラ監視システム CWW-200

無電源地域用 CWW-200 シリーズ



特徴

無電源地域での現場の状況がCCDカメラを通して監視できます。通信回線は、一般回線をはじめ携帯電話回線・衛星電話回線が使用可能です。CCDカメラの画像をJPEGに変換してPCに伝送します。カラー画像を定期的に収集したり、現場の状況に応じて、自動的に送ってきます。カメラのハウジングには省電力機構のデフロスター、ヒーターをはじめ、ライト(夜間用オプション)、ワイパー(オプション)がつけられます。

仕様

送信(端末)側

- ビデオ入力 : 4chNTSC標準信号入力、コネクタ(BNC/J)
(端末側で自動選択 又、受信側パソコンより各入力切替可能)
- 制御入力 : 4ch無電圧接点入力、コネクタ(端子台)
(センサ等信号入力により自動発報可能)
- 制御出力 : 4chリレー接点出力 最大50V、500mA、NO/NC接点、コネクタ(端子台)
(端末側で自動連動 又、受信側パソコンより各接点の"ON-OFF"制御可能)
- 画質(画素) : フルカラー(128×112/256×240/512×240ドット)
- 画像圧縮 : JPEG方式
- シリアル : RS-232C、コネクタ(D-SUB/P 9P、ピン接続はDOS/V準拠)、最大115.2KBPS
- 画像通信速度 : 一般電話回線2秒～、携帯電話(PHS)7秒～/(3秒～)
- 発報前撮り機能 : (オプション機能)
センサ発報前/後の画像を20ページまで記憶できます。
センサ発報前/後は設定により調節可能。

電源 : DC12V

コントローラ寸法および重量 : 寸法W200×H35×D250、重量1.5Kg

発報動作 : センサn入力で出力接点n出力+カメラn画像を受信側に伝送。(出荷時設定)
カメラnは変更可能でカメラ1～4の4分割も設定可能。出力接点はカメラ番号に準じますが、出力しい様にも設定可能。発報先をセンサごとに選択可能で、センサ1～4の内1つを警備状態セットSWとして選択可能です。

受信(センタ)側

パソコン(OS : Windows 95・98・NT4.0、グラフィック : SVGA800×600以上でフルカラー、CPU Pentium 166MHz以上、メモリ : 32MB以上搭載のDOS/V機が必要
上記、1に9600BPS以上のモデムが必要(モデム付パソコンでも可能)

動作(標準仕様) : 受信機側で、最大端末500局までの電話番号/Dの登録・変更 端末を呼び出し後、端末側のカメラ選択受画(4ch)及び各接点制御(4ch)端末を呼び出し後、端末側のID、発報先電話番号、発報動作等を登録・変更(リモートメンテナンス)端末側より自動受信した画像の、自動的保存各端末(最大500局)の、動作記録・通信記録保存および閲覧画像受信は、1/1(1台カメラ1画面表示)、1/4×4(4台カメラを4分割1画面表示)、カメラ順次(4台カメラ1画面表示)の選択可能通信速度(画質)は、7段階選択可能

伝送部

使用回線 : 一般公衆回線、専用回線、構内回線、
直接接続、携帯電話、衛星電話、LAN
モデム : モデム間速度9600BPS以上 機種指定
通信 : RS-232C

収納箱大きさ

屋外取り付け方式 屋外用収納ボックス(オプション窓つき)
標準 : 40W×45H×23Dcm 重量 : 約20kg

電源

太陽電池(50W以上)と風力発電の組み合わせなど
(使用方法により設定)

